

# 平成22年度会務中間報告



## 平成22年度 日本弁理士クラブ 事業計画

日本弁理士クラブ幹事長  
岡 部 謙

### はじめに

平成22年度日本弁理士クラブ幹事長の岡部謙です。幹事長として既に9ヶ月が経過しようとしています。残りの任期を全うすべく、微力ながら全力で頑張りたいと思っております。ご支援、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

昨年は100年に一度という大不況に見舞われ、我々弁理士業界も当然にその影響を受けています。出願件数の減少や弁理士の数の大幅な増加など、弁理士を取りまく環境は決して良好なものとは言えません。日本弁理士クラブでは、政策委員会を中心に今後の弁理士制度のありかたについての中長期ビジョンの検討を進めています。会員の皆様からの積極的な提言や、アドバイスをお待ちしております。

### 今年度の事業計画と活動方針

1. 筒井大和会長体制を、日弁の総力を結集して、全面的にバックアップする。

本年度は、日本弁理士クラブとして日本弁理士会に送り出している筒井大和会長の2年目の任期となります。筒井執行部を盛り立てるため、日本弁理士クラブの総力を結集して、全面的にバックアップすることを第1の活動方針としています。会員の皆様方の筒井執行部へのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

2. 本年度の会長選挙に日弁会派が結集して取り組む。

本年度は、次期日本弁理士会会長を選出する選挙の年にあたります。

昨年の日本弁理士会役員選挙の体験から、会員数が8千人を超え、しかも無会派層の比率が高まる中、

大多数の無会派層にもアピールする選挙運動の重要性が高まり、従前以上に選挙に労力と、資金がかかるようになってきています。十分な選挙運動を行えるだけの財政基盤を準備しておく必要があるとの観点から昨年度は予算配分に配慮しましたが、まだまだ十分とは言えません。本年度の会長選挙は近來にない激烈なものになることが予想されています。日本弁理士クラブ会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

3. 無会派層に対して、日弁の存在をアピールし、日弁シンパの増員をはかる。

増加の一途をたどる無会派層を当会会員として勧誘できることに越したことはありませんが、勤務弁理士や企業弁理士の比率も高く、直ぐには望めない現実があります。そこで、日本弁理士クラブの存在をアピールし、日本弁理士クラブのシンパの増員をはかる必要があります。日本弁理士クラブでは昨年度から「日弁メルマガ」を発行し、日本弁理士クラブのシンパの増員をはかっています。内容は、日本弁理士クラブ、或いは、日本弁理士クラブを構成している、春秋会、P A会、南甲弁理士クラブ、無名会、稲門弁理士クラブの各会派が実施している、研修会、就職懇談会、口述練習会などの案内がメインです。面白いアイデアがあればお知らせ下さい。

### 無会派層への呼びかけ

日本弁理士クラブでは、将来の弁理士業界を支える若手弁理士の声を大切にしたいと思っております。会派活動に時間を割けないと言われる方や、会派活動そのものに対して懐疑的あるいは否定的な方々もおられると思います。しかしながら、弁理士制度を着実に運用し、将来、より魅力的なものとしていくために、弁理士会のために行動しているのは会派に所属して活動している弁理士であることも事実なのです。我々は研修会など、当会会員以外の方でも参加できるイベントを用意しています。このようなイ

メントに参加して頂くことによって、日本弁理士クラブの活動を御理解いただけたと思います。

## 近況報告

本年度幹事会は、6月29日の総会で承認いただきました事業計画と予算に従って、活動を進めております。主なところでは、日弁旅行会を6月19日・20日、神奈川県湯河原温泉「山翠楼」にて開催しました。翌日は芦ノ湖カントリークラブでゴルフ大会を行いました。

また、特定侵害訴訟代理業務試験対策研修の一貫として、7月に5回シリーズの過去問解析講座がスタートし、また、9月からは模擬試験を行っています。

最後に本年度幹事団のメンバーはつぎの通りです。幹事会へのご支援、ご協力の程、宜しく願いいたします。

幹事長	(P A) 岡部 讓
副幹事長	(P A) 萩原 康司〔庶務担当〕 (春秋) 岩永 和久〔研修、広報、会報担当〕 (南甲) 中村 仁〔旅行、規約、ボーリング担当〕 (無名) 須田 元也〔慶弔、ホームページ、テニス、ゴルフ担当〕 (稲門) 吉田 正義〔会計、新年会担当〕
幹事	(P A) 穂坂 道子 (春秋) 太田 昌孝 山田 毅彦 (南甲) 小川 嘉英 林 剛史 (無名) 坂次 哲也 石塚 利博 (稲門) 窪田 稚之 生富 成一

## 組織と活動

副幹事長 萩原 康司

### I. 日弁役員

#### 1. 幹事会

幹事長	(P A) 岡部 讓
副幹事長	(P A) 萩原 康司〔庶務担当〕 (春秋) 岩永 和久〔研修、協議、広報、会報担当〕 (南甲) 中村 仁〔旅行、規約、ボーリング担当〕 (無名) 須田 元也〔慶弔、ホームページ、テニス、ゴルフ担当〕 (稲門) 吉田 正義〔会計、新年会担当〕

幹事	(P A) 穂坂 道子 (春秋) 太田 昌孝 山田 毅彦 (南甲) 小川 嘉英 林 剛史 (無名) 坂次 哲也 石塚 利博 (稲門) 窪田 稚之 生富 成一
----	--

#### 2. 会計監事 (稲門) 榎本 英俊 (春秋) 有原 幸一

### II. 日弁委員会

#### 1. 政策委員会 (担当副幹事長 中村 仁)

政策委員長	(南甲) 樺澤 聡
副委員長	(P A) 井出 正威 (春秋) 西出 眞吾 (南甲) 蔵田 昌俊 (無名) 齋藤 康 (稲門) 小西 恵
委員	(P A) 福田 伸一 (春秋) 出野 知 鷺 健志 (南甲) 伊丹 勝 瀧野 文雄 (無名) 高松 俊雄 竹山 尚治 (稲門) 西村 公芳

## 2. 協議委員会 (担当副幹事長 岩永 和久)

協議委員長 (春秋) 佐藤 辰彦  
副委員長 (春秋) 清水 善廣 長濱 範明  
(P A) 神林恵美子  
(南甲) 真田 有  
(無名) 八木 秀人  
(稲門) 高橋 英樹  
委 員 (P A) 渡邊 敬介 市東 篤  
中野 圭二 (会計担当)  
(春秋) 久門 保子 伊藤 高英  
(南甲) 須藤 浩 津田 理  
河野 生吾  
(無名) 香原 修也 村上 晃一  
(稲門) 細田 浩一

## 3. 研修委員会 (担当副幹事長 岩永 和久)

研修委員長 (P A) 中野 圭二  
副委員長 (P A) 金井 建  
委 員 (P A) 市原 政喜 渡邊 伸一  
(春秋) 栗原 弘 伊藤 公一  
(南甲) 小川 雅也 飯村 重樹  
(無名) 竹山 尚治 高田 伸一  
(稲門) 岩田 啓

## 4. 規約委員会 (担当副幹事長 中村 仁)

規約委員長 (南甲) 河野 哲  
委 員 (春秋) 五十嵐貞喜  
(P A) 林 篤史  
(南甲) 丸山 幸雄  
(無名) 吉岡 宏嗣  
(稲門) 榎本 英俊

## 5. 会報委員会 (担当副幹事長 岩永 和久)

会報委員長 (春秋) 大澤 豊  
委 員 (春秋) 荒木 邦夫 高城 貞晶  
大浦 博司  
(P A) 野田 薫央 青島 恵美  
(南甲) 藤沢昭太郎 金田 周二  
(無名) 片岡憲一郎 小松 秀彦  
(稲門) 倉持 誠 高橋 政治

## 6. ホームページ委員会 (担当副幹事長 須田 元也)

HP委員長 (無名) 山田 勉  
委 員 (春秋) 山崎 貴明  
(P A) 村田 正樹 西岡 邦昭  
(南甲) 河野 生吾  
(稲門) 関 京悟

## III. 日弁相談役会 (担当副幹事長 萩原 康司)

常任相談役 (P A) 浅村 皓  
(春秋) 佐藤 辰彦  
(南甲) 幸田 全弘  
(無名) 下坂スミ子  
(稲門) 稲木 次之  
相談役 (春秋) 奥山 尚男 佐藤 一雄  
篠原 泰司 竹内 三郎  
笹島富二雄 波多野 久  
奥山 尚一 清水 善廣  
(P A) 小山 欽造 岡部 正夫  
秋沢 政光 田中 正治  
村木 清司 谷 義一  
大西 正悟  
(南甲) 瀧野 秀雄 樺澤 襄  
高橋 三雄 野本 陽一  
久保 司 榎原 史生  
(無名) 鈴木 正次 筒井 大和  
(稲門) 石山 博

## IV. 日本弁理士会役員

### 1. 執行役員会

会 長 (無名) 筒井 大和  
副会長 (P A) 狩野 彰  
(春秋) 小宮 良雄  
(南甲) 松浦喜多男  
(無名) 鈴木 一永  
執行理事 (P A) 大西 正悟 村田 実  
(春秋) 打揚 洋次  
(南甲) 小林 幸夫 今井 貴子  
(無名) 江藤 聡明 小島高城郎  
(稲門) 榎本 英俊

## 2. 常議員会

常議員 1 年度 (P A) 高橋誠一郎 野上 晃  
穂坂 道子 村田 実  
(春秋) 吉田 維夫 岩壁 冬樹  
松尾 誠剛 豊崎 玲子  
大澤 豊  
(南甲) 川口 光男 石井 茂樹  
瀧野 文雄 高橋 大典  
(無名) 小島高城郎  
(稲門) 榎本 英俊

2 年度 (P A) 大西 正悟 井滝 裕敬  
中野 圭二 深澤 拓司  
(春秋) 井上 正 磯貝 克臣  
小塚 敏紀 光野 文子  
高橋 祥泰  
(南甲) 宮永 栄 須藤 浩  
今井 貴子 守田 賢一  
(無名) 江藤 聡明  
(稲門) 中野 寛也

## 3. 監事会

監事 1 年度 (P A) 一色 健輔  
(春秋) 小泉 雅裕  
(無名) 菅原 修

2 年度 (P A) 山田 正紀  
(春秋) 西山 雅也  
(無名) 石原 詔二

## 平成22年度総会 承認事項

副幹事長 萩原 康司

### 第 1 回総会

日時：平成22年 6 月 29 日 (火) 午後 6 時 30 分

会場：弁理士会館 2 階 A、B 会議室

(1) 平成22年度事業計画の承認を求める件

萩原康司副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

(2) 平成21年度決算報告の承認を求める件

吉田正義副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

(3) 平成22年度予算の承認を求める件

吉田正義副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。

(4) 平成22年度日弁人事および日本弁理士会役員推薦の件

岡部譲幹事長による説明、報告の後、幹事会一任とすることについて賛成多数により承認。

以上



## 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修担当副幹事長 岩 永 和 久

平成22年度日本弁理士クラブの研修会は、例年同様、特定侵害訴訟代理業務対応の研修会を実施しています。旅行会における研修会は実施しませんでした。

### 1. 研修委員会メンバー（敬称略）

研修委員長（PA）中野 圭二  
 委員（PA）金井 建、市原 政喜、  
 渡邊 伸一  
 （春秋）栗原 弘、伊藤 公一  
 （南甲）小川 雅也、飯村 重樹  
 （無名）竹山 尚治、高田 伸一  
 （稲門）岩田 啓

### 2. 特定侵害訴訟代理業務研修

#### （1）過去問解析講座

講師：弁護士・弁理士 山口 健司先生  
 （青和特許法律事務所）

- ・ 7月6日（火） TKP虎ノ門ビジネスセンター  
 ①試験のポイント  
 （知財侵害訴訟の要件事実について）  
 ②平成20年度第一問解説
- ・ 7月13日（火） 弁理士会3階会議室  
 平成18年度第一問、第二問解説
- ・ 7月20日（火） TKP虎ノ門ビジネスセンター  
 平成16年度第一問、第二問解説
- ・ 7月27日（火） 弁理士会3階会議室  
 平成21年度第一問、第二問解説
- ・ 8月3日（火） TKP虎ノ門ビジネスセンター  
 ①平成20年度第二問解説  
 ②過去問の傾向と試験対策

受講者数：80人

#### （2）模擬試験

講師：弁護士・弁理士 坂田 洋一先生  
 （小林・弓削田法律事務所）

- ・ 9月14日（火） 特許法関連模擬試験1問
- ・ 9月28日（火） 商標・不正競争防止法関連模擬試験1問
- ・ 10月5日（火） 小問、第1・2回の模擬試験結果講評等

受講者数：80人



## 平成22年度 日本弁理士クラブ 予算の紹介

会計担当副幹事長 吉 田 正 義

前年度の関係各位のご尽力により、本年度は、例年に比較して前年度のからの繰越金を多く頂いております。そして、本年度の予算は、日本弁理士会会長等の選挙に全力で対応すべく、選挙対策費、協議委員会、幹事長渉外費に多くの予算を組んでおります。状況に応じて臨機応変に対応できればと考えております。関係各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<b>収入の部</b>	（単位：円）
前年度会計からの繰越金 （繰越金＋次年度活動準備金）	（                    ）
各クラブ分担金	
合 計	

### 支出の部

例会・総会
幹事会
会報委員会
協議委員会
政策委員会
規約委員会
HP委員会
研修委員会
連絡協議会
相談役会・常任相談役会
旅行会
旅行会ゴルフ大会補助
新年会
ボウリング大会補助
テニス大会補助
庶務
慶弔費
渉外・交通
幹事長渉外費
選挙対策費
予備費
次年度活動準備費
合 計



## 政策委員会

政策委員長 榊 澤 聡

### 1. 委員会構成

委員長	榊澤 聡	(南甲)
副委員長	井出 正威	(P A)
同	西出 眞吾	(春秋)
同	蔵田 昌俊	(南甲)
同	齋藤 康	(無名)
同	小西 恵	(稲門)
委員	福田 伸一	(P A)
同	出野 知	(春秋)
同	鷲 健志	(春秋)
同	伊丹 勝	(南甲)
同	瀧野 文雄	(南甲)
同	高松 俊雄	(無名)
同	竹山 尚治	(無名)
同	西村 公芳	(稲門)

#### 政策プロジェクトチーム

リーダー	伊丹 勝	(南甲)
メンバー	福田 伸一	(P A)
同	村田 正樹	(P A)
同	西出 眞吾	(春秋)
同	出野 知	(春秋)
同	瀧野 文雄	(南甲)
同	齋藤 康	(無名)
同	内田 雅一	(無名)
同	西村 公芳	(稲門)
同	中野 寛也	(稲門)

### 2. 諮問事項

- ①日本弁理士会執行部に対する政策面のサポート
  - ・日本弁理士会執行部からの検討事項に対する意見表明等
  - ・日本弁理士クラブとしての自主的な意見具申
- ②日本弁理士クラブ推薦の会長立候補予定者の政策の検討

### 3. 委員会開催実績

- 第1回委員会(拡大) 7月26日(月)
  - 第2回委員会(拡大) 8月23日(月)
  - 第3回委員会(拡大) 8月31日(火)
- 政策プロジェクトチーム
- 第1回P T 8月31日(火)
  - 第2回P T 9月13日(月)
- 政策発表会 8月31日(火)

### 4. 各会の審議

#### ①委員会

第1回では、政策委員に加え各派幹事長の出席を戴き、奥山尚一次期会長候補が政策説明をした。

この発表された政策を基に日本弁理士クラブの承認した政策を作成することとした。政策説明及び資料を基に、各会派内で検討して意見を集約し、この意見を基に次回までに修正した政策を作成することとした。

また、政策委員会にプロジェクトチームを結成し、日本弁理士クラブとしての選挙用パンフレット等を作成することとした。

今後の役員選挙までの政策作成の活動スケジュールを作成し、確認した。

第2回では、政策委員に加え各派幹事長及び協議委員長の出席を戴き、奥山尚一次期会長候補の、政策発表用のパワーポイントとテキストパンフレットとの内容を確認した。

政策発表に向けて、修正すべき点を検討し、修正を加えた。

委員会の終了後に、納涼懇親会を開催した。

第3回では、政策委員に加え会員も自由に参加し、奥山尚一次期会長候補が政策説明をした。

政策説明後、質問、意見等を確認し、政策に修正を加えた。

#### ②政策プロジェクトチーム

第1回では、選挙用パンフレット等の5種類の発送物を作成することにし、それぞれの発送物の内容について、春秋会幹事長より説明があり、今後の作成スケジュールについて確認した。

春秋会で各発送物の原案を作成し、各メンバーに次回の会の事前に送付することとした。

第2回では、春秋会で作成した各発送物を予め出ている意見を基に、時間の許す限り表題、文章について検討した。

### ③日本弁理士会等への要望書

西日本弁理士クラブ及び弁理士連合クラブの連名で、日本弁理士会及び日本弁理士政治連名宛に要望書を提出した。

3月24日に弁理士連合クラブより依頼があり、当初は4月初旬に提出の予定であったため、政策委員会が立ち上げられてなく、各会派の幹事長にお願いし、各会派の政策担当で検討し、それらの意見を取りまとめて弁理士連合クラブに幹事長名及び政策委員長名で回答した。

最終的には、日本弁理士会筒井大和会長及び日本弁理士政治連名古谷史旺会長宛で「特許出願件数激減への対応策についてのお願い」として要望書を提出した。

## 平成21年度叙勲・褒章受章者

### 叙勲受章者

(春)	辻	信吾	
(秋)	村木	清司	綿貫隆夫
	川島	利和	須藤阿佐子
	兒玉	喜博	長沼要



## 旅行会報告

旅行会担当副幹事長 中村 仁

平成22年度の旅行会は、6月19日(土)、20日(日)にかけて、湯河原「山翠楼」にて開催されました。懐石料理が自慢の落ち着いた宿で、展望露天風呂、新感覚スパもある高級旅館です。昨年度は熱海「石亭」だったので、これに負けない高級旅館を同価格でということで旅行会社に無理を言って実現してもらいました。

今年は、日本弁理士会正副会長、弁理士連合クラブ及び日弁会員をあわせて56名(日弁41名、連合15名)の旅行会となりました。西日本弁理士クラブからの参加者がなかったため、昨年より参加者が少なかったのは残念ですが、参加者全員が懇親を深めて楽しい時間を過ごせました。

なお、ここ数年、旅行会の初日午後に研修会を開催することが多かったのですが、今年は、ゆっくりと温泉を楽しんでいただき、ワイワイ、ダラダラと過ごす時間を長くとり、大いに懇親していただきたいと考え、研修会は開催しませんでした。

### 【宴会】

午後5時50分に宴会場に集合して記念写真を撮影した後、お待ちかねの宴会がスタートしました。

岡部幹事長の挨拶で始まり、ご来賓の筒井大和と日本弁理士会会長、亀谷美明弁理士連合クラブ幹事長からご挨拶をいただきました。その後、笹島日弁相談役の音頭により乾杯となりました。

乾杯が終わってほどなく、旅館からのサービスで、「ゆば作り実演」が舞台上で披露され、多くの参加者がかぶりついて見学し、その後、生ゆばを堪能しました。

宴会が始まってしばらくは、皆さん自分の席に座って料理を楽しみながら歓談しておりましたが、時間が経つにつれ、酒を持って移動する人が増え、かわいいコンパニオンも加わり、あちこちで大騒ぎのグループが出来上がり、大いに盛り上がりました。



### 【二次会】

二次会は、場所を7階のサロンに移し、カラオケ大会です。

当日は、ワールドカップサッカーアフリカ大会の日本の第2戦（対オランダ）が夜8時キックオフということで、二次会の時間とかぶってしまいましたが、試合観戦を希望するサッカーファンを何とか説得し、一部は強引に連行し、ほぼ全員、二次会にご参加いただけました。

自慢の喉を披露したいという希望者が続出し、時間が足りないほどの盛り上がりになり、最後は、日弁5会派幹事長対抗歌合戦でお開きとなりました。

### 【三次会】

二次会で大人しく寝るような参加者は少ないので、三次会もセッティングしました。宿泊するのとは別棟に広い部屋を確保し、酒とつまみをたっぷりと準

備しておきました。

三次会にも少なくとも30名は参加いただき、まさにすし詰め状態でワイワイガヤガヤと遅くまで盛り上がりおりました。

### 【その後】

12時頃になると、コンパニオンを連れてラーメンを食べに出かけたり、居酒屋に繰り出したり、部屋に戻ったりと、流れ解散になり、三次会も無事に終わりました。

その後、数名の若手会員が三次会部屋に戻って飲み直し、そのままの勢いで一睡もせず朝まで過ごしたそうです。その数名に朝の風呂場の脱衣場で会いましたが、妙なハイテンションでいたので、関わりをもたないように挨拶だけして逃げました。彼らは無事に帰れたのでしょうか・・・





## 日弁ゴルフ大会報告

ゴルフ大会担当幹事 須田元也

本年度日弁ゴルフ大会は、例年通り日弁旅行会の日程に合わせ行われる予定でしたが…、宿泊先旅館に程近い芦の湖カントリークラブが当日朝から濃霧に覆われ、誠に残念ながら中止となりました。ゴルフ場へ向かう車中近づくとつれづれ視界が悪くなり、「こうした天候もやはり担当幹事の責任なんではないか」とつぶやいたところ、同乗されていた岡部譲幹事長と榊澤聡政策委員長より「当然だ!」と息ピッタリにお叱りを受けました。

なお、八木秀人先生と榊澤先生のご配慮により、その場で近隣のゴルフ場にて計5組確保していただき、ゲストの連合の先生方全員を含め多くの方々でプレーすることができました。この場を借りてお二人に御礼申し上げます。

当日プレーをされた木戸良彦先生より楽しいご報告を頂戴いたしましたので、写真と共に掲載させていただきます。ありがとうございました。

## 裏・日弁ゴルフ大会!

木戸良彦

濃霧のためプレー中止となった日弁ゴルフ大会ではありますが、せっかくの機会ということでプレーを希望する方も多く、近隣のゴルフ場でのプレーを模索しました。さすがに当日で5組以上のコンペができるゴルフ場はなく、八木先生を中心とするレインボーカントリー倶楽部組と日弁政策委員長の榊澤先生を中心とする西熱海ゴルフ場組に分かれてプレーすることとなりました。筆者は後者に参加しましたので、そちらの内容をレポートしたいと思います。また、岡部日弁幹事長をはじめ3名ほどはどちらにも参加せず帰京されましたが、私は午前4時就寝のひどい二日酔いでしたので、今思えばそれも賢明な選択であったかと思えます。

さて、「裏・日弁ゴルフ大会@西熱海ゴルフコース」の参加者は、日弁政策委員長の榊澤聡先生、同友会幹事長の井澤幹先生、春秋会の伊藤高英先生、

長濱範明先生、太田昌孝先生と筆者の6名となりました。

芦の湖カントリークラブから西熱海ゴルフコースへの移動は、伊藤高英先生のミニバンでの移動となりました。7人乗りの車があったおかげで移動可能となったわけですが、大の大人が6名(写真を見れば分かるように巨漢が揃っています。)に、キャディバッグが6個となりますと、さすがにギュウギュウ詰めとなります。わずかに30分ちょっとの移動でありましたが、久々に学生気分に戻ったような感じがしました……。

到着後すぐにOUT1番からのスタートとなりましたが、西熱海ゴルフコースも霧の影響がありました。それでも芦の湖カントリークラブは視界5ヤードくらいしかない濃霧でしたが、西熱海では150ヤード程度は視界が確保できましたので、うっすらと見えるピンフラッグに向けてショットをするといった状況でした。また、小雨が振ったりやんだりということで、6月にしてはかなり寒かったかと思えます。ランチに暖かいラーメンを食べようと思ったら、夏メニューに替わっており、冷やし中華しかないということですごいショックを受けたことが思い出されます。

各人のスコアですが、霧・雨・二日酔いと訳はいくらでもありますので、推して知るべしということで、皆様の名誉と個人情報保護の観点から、公表は差し控えたいと思えます。

なお、伊藤先生と私は先に帰京しましたが、残りの4名は熱海駅前で金目鯛をはじめとする伊豆近海の魚介類を肴に宴会を楽しまれたようです。一人一本は焼酎のボトルを空けたということでしたので、19番ホールに関しては皆様のいいスコアだったようです。

